

通称ダントツさん。首都圏郊外の一戸建てに住む34歳の主婦。夫と長男9歳、長女4歳、おじいちゃん、イチロー(大型犬)の5人+1匹家族。趣味のテニスやPTAに忙しく、料理も家事も手抜きをしたいチャッカリ主婦。



【パ】 ほら見てごらん、日立の「Wooo」。帰りの電車でスポーツ中継を楽しんだり、ニュースを見たりしたいなあと。【ダントツ】 ふうん。でも、ワンセグケータイって、高機能な分だけちょっと「ゴツイ」感じよね?

【パ】 最近のワンセグケータイって、とっても進化しているんだよ。外出先でもどんなにいいじゃない? 残業で遅くなつても、帰りの電車でスポーツ中継を楽しんだり、ニュースを見たりしたいなあと。

【ダントツ】 ふうん。でも、ワンセグケータイって、高機能な分だけちょっと「ゴツイ」感じよね?

【パ】 あ、こんなところにケータイシヨツブがあるね。ママ、そろそろケータイの機種変更をしようと思うんだけど。

【ダントツ】 あら、どうして? 壊れたわけでもないのに。



「ケータイ」W53Hなら、厚さはわずか14.

2mmだよ。さらに、ワンセグ用のアンテナを本体に内蔵しているから、よりすつきりしているんだ。シャープでエッジが効いた

デザインも、大人っぽくてビジネスマンにピッタリだね。僕はこの日本の塗りを思われる「ジャパンブラック」が気に入ったな。この薄さで、ワンセグだけでなく、おサイ

フケータイ*やカメラ機能もついているんだけ。エッジが効いた

【博士】 うおっほん!

【ダントツ】 あら、秋葉原博士もケータイをお探しですか?

【博士】 ご主人はなかなかお目がお高いですね。こちらのW53HはハイビジョンテレビWoooの技術を生かした高画質エンジン「Picture Master for Mobile」を搭載しており、四つの画像補正技術でワンセグを色鮮やかに描き出しています。

しかも、ディスプレイに従来の液晶ではなく有機ELディスプレイを採用しているのです。有機ELディスプレイは1画素ごとに自発光するのが特徴で、色の再現性が高く、高いコントラストを実現しています。引き締まった黒、鮮やかな赤など、実際にメリハリのある映像が楽しめています。

【ダントツ】 へえ、しかもいろいろなデザインのパターンが選べるなんて楽しいわね。パパが替えるなら、私も機種変更しても大変見やすいのです!

【博士】 ちやおうかしら♪

携帯電話

イラスト◎谷口シロウ

美しい、デザインで選べる 日立の「ワンセグケータイ」



ヒストグラム伸張型γ補正 彩度補正
画像輝度対応イコライジング補正 光センサー連動γ補正

ココがダントツ3

スタイルリッシュに、グラフィカルに、思い思いのデザインが楽しめる

四つの
画像補正で
鮮やかな映像を
実現

ココがダントツ1



広視野角で、
どこからでも
画面が見やすい

ココがダントツ2



W53H
メインディスプレイに有機ELディスプレイを搭載。ハイビジョンテレビWoooで培った映像技術を生かして、2.8インチの中に色鮮やかな映像を再現。ジャパンブラック、ノルディックホワイトなど5色。



W61H
背面に電子ペーパーによる「シルエットスクリーン」を搭載。バーツを取り替えることなく、デザインの変化が楽しめる。2.8インチ ワイドQVGA IPS液晶搭載。クリスタルホワイトなど3色。